



## ★ 1 下駄箱のカビ退治



### できるだけすき間を開けて、余裕の収納

1日履いていた靴は、晴れた日でも汗を吸って湿気を帯びています。そこで、下駄箱の中には、どんどん湿気や汚れが持ち込まれ、カビ環境が作られていきます。常に通気性を高める方法として、扉を少し開けておくことが一つ。さらに、少し間隔を開けながら収納するのもポイントです。湿った靴をぎゅうぎゅう詰めにするのは絶対タブー。。

### 除湿効果抜群のドライヤー作戦

下駄箱と靴の湿気にぜひ活用させたいのが、ハンディタイプのドライヤー。下駄箱なら、ふき掃除したあとしばらく扉を開けてまず自然乾燥。さらにドライヤー乾燥すれば強力。ダブル効果で、ジメジメが一気に吹き飛んでいきます。特に、四隅はなかなか乾きにくいので、意識的に多めに風を当てましょう。

靴の乾燥にも、ドライヤーがお役立ち。湿気が残りやすい内側に、集中的に風を当てます。いずれにしても、帰宅後にぬいだ靴をすぐ下駄箱に入れるのはバツ。収納は、ひと晩おいてからにして。特に、雨の日に履いた靴は、かなり湿気を含み、カビ好みの環境です。日陰干しできない日は、布やティッシュで水気を取って、ドライヤー乾燥。しまう前に、徹底した除湿を。

## ★ 2 押入れのカビ退治



### スノコですき間をあけ、衣類や小物はキャスターつき衣装ケースの中に

お助けグッズその一はスノコ。まず床面にスノコを敷き、さらに、壁の三方にもたてかけます。つまり、フトンのスノコで包囲し、壁や床に触れないようにするワケ。こうすると、かなり通気性がよくなり、湿度を下げられます。さらに、通気性を高めるには、晴れた日にふすまを解放すること。

また、衣装や小物はキャスターつきケースに収納し、掃除しやすくする、除湿剤を入れる、など工夫してみてください。カビを発見したら、即エタノールでふき取り、しっかり除菌を。

